

交通工学研究発表会の発表論文の取扱変更について

令和6年12月 第2学術小委員会

交通工学研究発表会は、毎年500名以上の参加者があり、研究・実務の成果を広く公表する機会であるとともに、会員相互の交流の場、研鑽の場として大きな役割を果たしています。

令和7年度（第45回）から、発表会に投稿される論文の取り扱いが大きく変わります。主な変更点は下記のとおりです。

■令和6年度（第44回）との変更点

① 審査内容の簡素化（「発表審査」→「発表資格確認」）

これまで投稿論文に対して実施してきた「発表審査」を廃止し、審査内容を簡素化した「発表資格確認」を実施することとしました。それに伴い、下表の通り変更となります。

	旧	新
掲載雑誌名称	交通工学研究発表会論文集 (J-Stage上で発行)	交通工学研究発表会講演集 (J-Stage上で発行)
審査（確認）内容	題目の適切性	-
	目的と結論の対応関係	-
	著者の主張の読み取り易さ	-
	推敲	書式違反 (著しい書式違反の有無)
	投稿目的	投稿目的 (商業目的の投稿でないか)
審査（確認）体制	第2学術小委員(1名)+査読委員(1名)	第2学術小委員(1名)

② 二重投稿規定の変更

海外で発表された優れた研究内容の国内への周知や、他分野で発表された優れた研究内容の交通工学分野への周知を目的として、既に発表されている原稿の投稿（既発表原稿の著作権等については著者の責任）を認め、発表会での議論の活性化をはかることとしました。ただし、別の媒体に投稿中の原稿の二重投稿は認められないとともに、「交通工学論文集(特集号)」への投稿資格は与えられません。

■令和6年度（第44回）と変わらない点

- ・ 論文は「研究論文」と「実務論文」に分けられます。
- ・ 研究発表会で発表された論文（上述の既発表原稿を除く）については、「交通工学論文集(特集号)」への投稿資格が与えられます。
- ・ 発表会後に「研究奨励賞」、「安全の泉賞」の選定、贈呈が行われます。

●毎年の日程や大会概要などの詳細については、募集要項、交通工学研究発表会 WEB ページをご覧ください。

●論文書式は毎回必ず新しいものをダウンロードしてご利用ください。

発表申込・論文投稿 及び 書式見本のダウンロード:

交通工学研究発表会 WEB ページ(https://www.jste.or.jp/research_activities/happyo-ronbun/)をご参照ください。

お問合せ先: 一般社団法人 交通工学研究会 (担当/植田)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階

Email: kh-system@jste.or.jp ※お問い合わせはメールでお願いします。